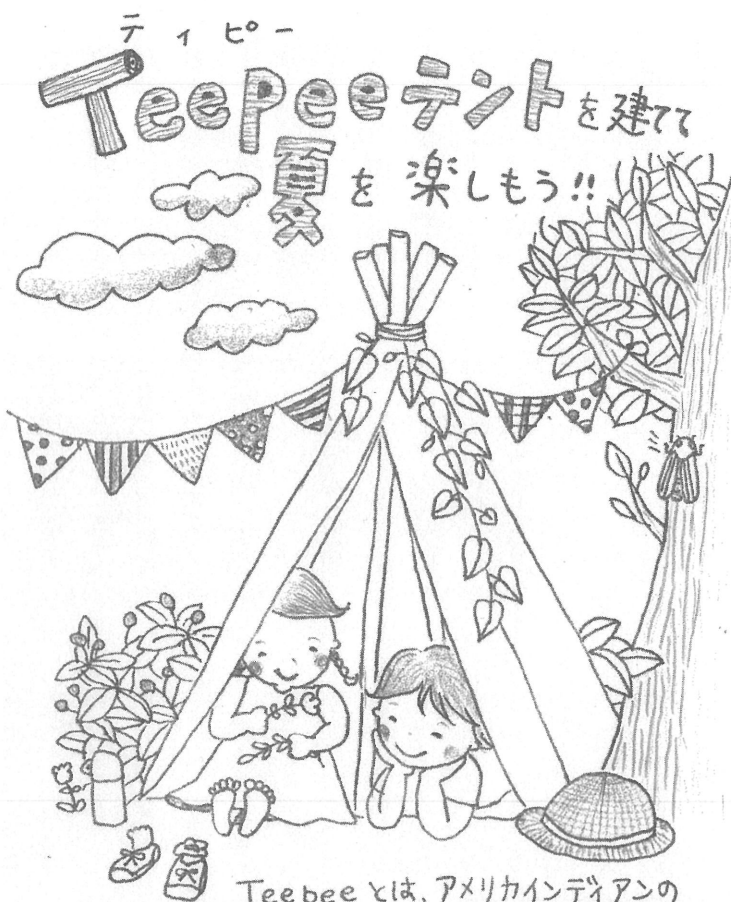


園文化をデザインする ⑥

アウトドア気分で夏を演出！

中村 紘子
(小学校教諭)



Teepeeとは、アメリカインディアンの平原に住む部族が利用する移動式住居のことです。日本では「ティピー」とか「ティーピー」と呼ばれています。今回は、2,3人の子どもたちが入れる小さなTeepee テントの建て方をご紹介します。夏のお庭に建てれば日差しをさえぎる涼しい空間に...室内でも子どもたちにとってちょっとした秘密基地に...子どもたちとテントの飾り付けをするのも楽しいひとときです。

中村 紘子 (なかむら ひろこ)

小学校図工科講師。森のようちえんや木育を通した子育て支援に関心を持ち、千葉県にて木育おもちゃカフェの運営に携わる。

園にある見えるもの、見えないもの。子どもの体いっぱい降り注ぐ、大人からのメッセージ。

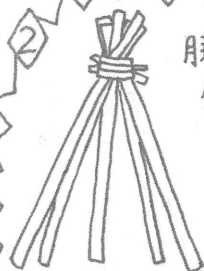
用意するもの

* 直径約3cm長さ約180cmの
木の枝または丸棒×5本

* ロープや麻ひもなど 丈夫なひも

* 大きめの布 (シーツなど)

Teepee テントの 建て方



脚になるほうを
少しずつ広げていき、
位置が定まったら、

上部をさらにひもでぐるぐる巻きにして
強度を高めておきます。滑りやすい床などに
建てる場合は脚の下に滑り止めを敷いたり
取り付けておくとより安全です。



木の枝の上から
15cmほどのところを
少し緩めに
ひもで縛ります。



3 布を上からかぶせて、入り口となる
部分の上部を内側からクリップで
留めたり、数針縫って固定します。

あとは自由に飾り付けて
楽しめます。霧吹きに入れた
色水を吹きかけて布を染めたり、
植物やフラッグガーデン (ひもに
旗の飾りを並べて付けたもの) で
飾るのもすてき!!

